

NEWS RELEASE

2014.9.25

都内初公開作品2点を含む 約40点を展示予定

ポーラ銀座ビル 5周年記念企画 「フジタ、夢をみる手」

10月24日（金）から開催



レオナルド・フジタ(藤田嗣治) 《グロテスク》 1955年 油彩/カンヴァス ポーラ美術館蔵
© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2014
D0659

ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、『美を磨く5つの出逢い』をコンセプトにしたポーラ銀座ビルの5周年記念イベントの一環として、ポーラ美術館収蔵のレオナルド・フジタ作品の企画展「フジタ、夢をみる手」を2014年10月24日（金）から12月28日（日）まで開催します。

レオナルド・フジタといえば、1920年代のパリで「すばらしき乳白色」と絶賛された裸婦を描いた作品群で知られるほか、女性や猫を写実的に描いた作品を多く残しています。しかし、従軍画家として参加した第二次世界大戦後、再びパリをめざした頃から、物語を思わせる動物の群像や神話上の女性、子どもが主題とされるなど、その作風は明らかに変化をみせるようになります。

本展は、第二次世界大戦期を境にフジタ芸術にみられるようになる、想像力や創作性をいっそう掘りどころとする傾向へと光を当てました。この時期のフジタの画業については、その背景がこれまでほとんど明らかにされていませんが、主題の幅の広がりや画家の卓越した描写力により、豊かな表現性を獲得します。その意味で、多彩なイマジネーションに富んだ作品群は、あたかもフジタの手の夢により生み出されたかのようです。

ポーラ美術館のコレクションの中から、1940年代後半から1960年代に制作された作品を中心に構成された本展では、昨年、ポーラ美術館に新収蔵された《グロテスク》をはじめとする2点（都内初公開）を含む、約40点をご紹介します。戦後のフジタとその芸術をめぐってみえてくる、新たな境地とその魅力をご堪能下さい。

Ⅱ 展覧会概要 Ⅱ

展覧会名：ポーラ銀座ビル 5周年記念企画「フジタ、夢をみる手」

会 期：2014年10月24日（金）－12月28日（日）[66日間]

休 館 日：12月17日（水）

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)

入 場 料：無料

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル3階)

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ / 東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分

JR 有楽町駅 京橋口から徒歩5分

主 催：株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

U R L : <http://www.po-holdings.co.jp/m-annex/>



1



2



3



4

レオナルド・フジタ（藤田嗣治）1886-1968

1886年（明治19）、現在の東京都新宿区新小川町の陸軍軍医の家に生まれたフジタは、父の上司だった森鷗外の勧めもあり東京美術学校西洋画科に入学。当時主流であった明るい外光派風の洋画にあきたらず、1913年、26歳のときにフランスにわたります。

パリのモンパルナスに住んだフジタは、ピカソやヴァン・ドンゲン、モディリアーニらエコール・ド・パリの画家たちと交流しました。彼らに刺激され、独自のスタイルを追究するなかで、紙や絹を支持体とする東洋の絵画の繊細で優美な質感を、油彩で再現しようと思いつきます。手製のなめらかなカンヴァスの上に、日本画などで用いる面相筆と墨で細い輪郭線を引き、細やかな陰影を施した裸婦像は、「素晴らしい白い下地」（grand fond blanc）、あるいは「乳白色の肌」と呼ばれて絶賛されました。1919年にはサロン・ドートヌヌに出品した6点の油彩画がすべて入選し、ただちに会員に推挙されるなど、フジタの作品はパリで大人気となりました。

1929年、凱旋帰国展のため16年ぶりに一時帰国。1933年以降は日本を活動の拠点とします。日中戦争がはじまると、従軍画家として群像表現による大画面の戦争画を制作しますが、戦後は画壇から戦争協力者として批判を浴び、失意のうちに日本を離れます。

日本には戻らないと決め、再びパリに暮らし始めたフジタは、1955年にフランス国籍を取得。1959年、72歳のときにランスの大聖堂でカトリックの洗礼を受け、レオナルドという洗礼名を与えられます。最晩年には、ランスに感謝を示したいと礼拝堂「シャベル・ノートル＝ダム・ド・ラ・ペ」（通称シャベル・フジタ）の建設を志し、完成から2年後の1968年に没しました。

レオナルド・フジタ（藤田嗣治） / ポーラ美術館蔵

- 1: 《姉妹》1950年 油彩/カンヴァス
- 2: 《ラ・フォンテーヌ嶺》1949年 油彩/カンヴァス
- 3: 《二人》1959年 油彩/カンヴァス
- 4: 《辻音楽師》1959年頃 油彩/ファイバーボード

© Fondation Fujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2014 D0739

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600（ハローダイヤル）